

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 胆嚢炎に対する観血的介入と至適手術時期の検討

[研究責任者] 外科 医師 山下万平

[研究の背景と目的]

急性胆嚢炎は、胆嚢に炎症が起こる病気です。治療としては、抗菌薬などの薬による治療、胆嚢にたまった胆汁を外に出す処置、手術などが行われます。

急性胆嚢炎では、早い時期に手術を行うことが推奨される場合があります。しかし、患者さんの全身状態、病気の重症度、内服している薬、医療体制などの事情により、すぐに手術を行うことが難しい場合もあります。そのような場合には、まず薬による治療や胆嚢のドレナージを行い、その後に手術を検討することがあります。

本研究では、長崎医療センターで胆嚢炎の治療を受けた患者さんの診療情報を用いて、薬による治療、ドレナージ、手術などの治療内容や、手術を行った時期と治療後の経過との関係を調べます。これにより、急性胆嚢炎に対してどのような治療方法が適切か、またドレナージを行った後にいつ手術を行うのが望ましいかを検討し、今後の治療に役立てることを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

膵癌の患者さんで 2013 年 1 月 1 日から 2027 年 12 月 31 日までに長崎医療センターで胆嚢の手術をうけられた方。

●研究期間：倫理審査委員会承認日から 2028 年 3 月 31 日まで

●利用するカルテ情報

年齢、性別、既往歴・合併症、診断時のバイタルサイン、内服薬、血液検査結果、CT・MRCP・腹部超音波検査の結果、薬による治療、ドレナージ、手術の内容、切除した胆嚢の顕微鏡検査結果、術後の経過、入院期間、合併症の有無と内容

●検体や情報の管理

カルテ抽出情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

外科 医師 山下万平

電話番号：0957-52-3121（代表）